

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	01	104360	芸術文化推進事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	01	芸術文化活動の推進				
目的	市民が身近な場所で気軽に芸術文化に親しむ環境をつくるため、芸術文化活動の場や作品の鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動に取り組む環境をつくるため、芸術文化活動団体への支援を行う。						
対象	市民						
意図	市民が身近な場所で気軽に芸術文化にふれ親しむことができるように、機会を提供する。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生のためのアートセミナー事業 258千円 ○小中学生美術展事業 156千円 ○岩手芸術祭巡回美術展【新規】 172千円 ○花巻市芸術協会事業補助金 2,416千円 ○花巻市民芸術祭実行委員会負担金 3,888千円 ○芸術文化全国大会等出場補助金 20千円 						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05	
1	アートセミナー開催回数	回	計画	2.00	2.00		
			実績	2.00	2.00		
2	市民芸術祭開催事業数	件	計画	32.00	33.00		
			実績	15.00	28.00		
3			計画				
			実績				
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05	
1	アートセミナー参加者数	人	目標	120.00	120.00		
			実績	163.00	108.00		
2	市民芸術祭参加者数及び入場者数	人	目標	14,400.00	14,700.00		
			実績	5,000.00	11,432.00		
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の影響を受け目標を下回ったが、様々な工夫を行いながら芸術文化に触れる機会の提供ができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	関係文化団体と連携を図り実施している。また、可能な限り最小限の経費で対応しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	全市民を対象とした事業であるので公平である。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	<p>今年度の振り返り</p> <p>アートセミナーは大変人気の高い事業であるが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響を受け、特に夏季開催分については参加者は定員を下回った。市民芸術祭については、開催事業数、参加者・入場者数とも大幅に増加回復した。</p> <p>次年度に向けて</p> <p>アートセミナー事業は、従前の開催規模に戻しより多く児童がアートに触れられる機会を提供したい。市民芸術祭については、参加者・入場者の増加に向けて工夫、検討を重ね、芸術文化活動の支援を行う。</p>

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	10	05	04	104480	芸術文化推進事業費			
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興			
	施策	01	芸術文化活動の推進					
目的	市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため主催事業を実施する。							
対象	市民							
意図	市民が芸術文化活動へ積極的に参加し、生活の中で芸術文化に接する機会を増やす							
事業概要	○文化会館自主事業 28,287千円 一般及び市内小中高生を対象とした鑑賞事業を実施 一般鑑賞事業 8事業（ぎんどろ寄席、花巻市民劇場公演、音楽公演、映画会等） 団体鑑賞事業 4事業（小学生低学年団体鑑賞、小学校高学年団体鑑賞、中学校団体鑑賞、高等学校団体鑑賞）							
市民参画の有無								
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	一般鑑賞事業公演回数			回	計画	7.00	8.00	
					実績	5.00	8.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	文化会館一般鑑賞事業に満足・ほぼ満足と回答した人の割合			%	目標	90.00	90.00	
					実績	90.30	87.00	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度	目標値より高い			○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
大ホールのお客様定員制限50%を設けながらではあったが、予定していた全ての事業を中止することなく実施できた。コロナ禍で芸術に触れる機会が著しく減少していた市民に、優良な公演の鑑賞機会を提供することができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内には、民間施設での開催事業が少なく、芸術文化振興の拠点施設である文化会館において、市民に芸術鑑賞の機会を提供する必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	市民のニーズに沿った魅力ある事業を開催して、新たな鑑賞者の掘り起こしを行い、市民にとってより満足の度合いが高まることが期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	充実した事業を提供するうえで、公演委託料や周知にかかる経費など事業費の削減の余地がない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	人件費においても事業対応者の経費などの見直しを行っており、これ以上の削減余地がない。
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域への事業の周知や、事業鑑賞の機会を提供するため、入場料金並びに鑑賞料金として応分の負担をいただいている。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	
	今年度の振り返り	大ホールのお客様定員制限50%を設けながらではあったが、予定していた全ての事業を中止することなく実施できた。
次年度に向けて	公演の魅力や芸術文化の素晴らしさをしっかり伝えられるプロモーションを行い、多くの市民に鑑賞の機会を提供する。	

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	04	104490	文化会館施設改修事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	01	芸術文化活動の推進				
目的	利用者の安全確保と、建物の長寿命化を図るため、文化会館施設改修を実施する。						
対象	市民						
意図	市民が芸術文化活動へ積極的に参加し、生活の中で芸術文化に接する機会を増やす						
事業概要	○文化会館施設改修 113,267千円 大ホール音響設備改修工事設計業務 3,267千円 大ホール音響設備改修工事 110,000千円						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1				計画			
				実績			
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
施設機能の維持に向けた事業であるため成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民の芸術文化の振興の拠点としての施設機能の維持という観点から、公共関与は妥当。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	施設利用者の活動内容とともに求められる機能も変化することから向上余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	会議や集会などについては民間施設や類似施設とのすみ分けなど本事業の削減余地はある。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	広く市民が利用できる施設であり、使用料も明確に定めているため、公平性は図られている。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	情勢に応じた施設機能の維持向上にむけ、計画的に改修を行うことが求められている。大ホールの舞台照明、音響設備について改修を進めている。
	次年度に向けて	建築から48年がたち躯体設備全体が老朽化しているため、大規模な改修更新工事が必要。今年度調査を進め改修計画を立てる。

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	10	104620	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	01	芸術文化活動の推進			
目的	萬鉄五郎を顕彰するとともに市民の美術に対する関心を高めるため、企画展覧会を開催する。					
対象	市民等					
意図	先人の理解を深めるとともに、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させる。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展覧会（収蔵作品展を含む） 9,188千円 <ul style="list-style-type: none"> ・萬鉄五郎展（令和4年4月～6月） ・五味太郎展（令和4年7月～9月） ・橋場あや展（令和4年10月～12月） ○収蔵品展 大宮政郎展（令和5年3月） ○関連事業 96千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展関連講演会の開催 ・美術をより理解し楽しむための美術講座の開催 ・美術館情報リーフレットの発行 					
市民参画の有無	有					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		○ 事業協力・協定	後援・協賛	
	補助・助成	○ 委託				
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	実開館日数	日	計画	289.00	289.00	
			実績	257.00	283.00	
2	企画展覧会の数	回	計画	5.00	5.00	
			実績	4.00	5.00	
3	関連事業の数	回	計画	5.00	5.00	
			実績	5.00	4.00	
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	入館者数	人	目標	11,000.00	11,000.00	
			実績	7,614.00	11,959.00	
2	萬鉄五郎や芸術文化に関心を持った人の割合	%	目標	75.00	75.00	
			実績	79.00	69.30	
3	講演会、ワークショップ等の参加者数	人	目標	250.00	250.00	
			実績	150.00	97.00	
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
展覧会は開催できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により講演会やワークショップ等の関連事業は開催できなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	県内では博物館法該当の美術館は4館しかなく、本格的な美術鑑賞の機会が限定的であることから、市民等に対し身近で安価に美術鑑賞の機会を提供できるものであり、公共関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	他の美術館の展覧会の情報を収集し、話題性の高い展覧会を企画することにより集客力や鑑賞者の満足度が上がり、成果が向上する。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	県内には、当館と同規模の美術館はないが、県外同規模（面積）館の職員数は12名（正職員6、臨時補助員6）、事業費は1,500万～1,800万となっており、事業費、人件費とも削減の余地はなく効果的な事業となっている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	入館料は、「特別展示にかかる特別入館料の基準（平成22年3月市長決裁）」に基づき、重要度、人気度（集客度）、事業費の観点から企画展ごとに設定しており、公平性が確保され適正である。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	○ 適正である	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症による休館がなく、予定通り展覧会は実施された。 ・「萬鉄五郎 私の履歴書」では、美術雑誌に掲載された萬の回想録を元に作品や当時の写真資料を交えながら、歩みを辿った。 ・「五味太郎作品展 絵本の時間3」日本を代表する絵本作家・五味太郎の絵本原画展を開催した。 ・「橋場あや 地上5センチの歩行」は障がい者の美術教育にも携わった橋場さんの集大成ともいえる展覧会を開催した。 ・収蔵品展は令和4年11月に逝去した岩手の美術家・大宮政郎の追悼展を開催した。
	今年度の振り返り	
次年度に向けて	今後も萬鉄五郎・親子向け・岩手の美術家・花巻の美術家を紹介する展覧会を行い、バランスの取れた展示を目指していく。	

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名						
01	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業費						
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興						
	施策	01	芸術文化活動の推進								
目的	萬鉄五郎の画業を顕彰するとともに、実地に美術活動に取り組む機会を提供する。										
対象	市民等										
意図	郷土の先人の理解を促進・深化させるとともに美術活動に取り組む市民を増加させる。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○萬鉄五郎祭実行委員会負担金事業 240千円 ●萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・萬鉄五郎祭顕彰式典の開催 5月3日 ・顕彰式典は行わず、実行委員長挨拶や「鉄人独語」の朗読を事前収録した音声同日開催していた「土澤アートクラフトフェア」会場にて放送。 ● 児童等写生作品募集及び作品展示会 <ul style="list-style-type: none"> ・写生作品募集 4月16日～5月1日 ・写生作品提出 4月16日～5月8日 ・作品展示 5月12日～5月29日 ● 民間団体が実施する事業に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・美術研修会 										
市民参画の有無											
市民協働の形態	共催	○	実行委員会・協議会	○	事業協力・協定	○	後援・協賛		補助・助成		委託
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05				
1	萬鉄五郎祭式典の実施			回	計画	1.00	1.00				
					実績	0.00					
2	児童等写生会・作品展示会の実施			回	計画	1.00	1.00				
					実績	0.00	1.00				
3					計画						
					実績						
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05				
1	萬鉄五郎祭式典の参加者数			人	目標	60.00	60.00				
					実績						
2	児童等写生会の参加者数			人	目標	60.00	60.00				
					実績		71.00				
3					目標						
					実績						
成果指標の達成度	○	目標値より高い			概ね目標値どおり			目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため式典中止。 写生会は参集開催せず、写生した作品を募集する形で開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で行事が少ないこと、自宅で描いて応募するため時間に余裕を持てることが参加者の増加に繋がったと推察する。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郷土の先人を顕彰し、その功績について理解を深めることや、人づくりの一環として児童等が美術活動に対して親しむ機会を提供することは、市として妥当な事業である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	○ 見直し余地がない	
	成果の向上余地	写生会について、幼稚園・保育園、小学校へのより積極的なPRにより製靴工場が期待できる。
	○ 向上余地がある	
効率性	○ 向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	事業の実施に必要な必要最小限の費用負担であり、また職員の関与も技術的な指導・支援にとどめ、いずれも削減の余地がない。
	○ 事業費の削減余地がある	
公平性	○ 人件費の削減余地がある	
	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	式典は萬鉄五郎の事業であり、受益者負担になじまない。また写生会については、画材、参加記念品相当の適正な参加料を徴収しており、公平性は確保されている。
総合評価	○ 受益機会の見直し余地がある	
	○ 費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
今年度の振り返り	式典は中止したが、実行委員長の挨拶や萬鉄五郎の著書『鉄人独語』の朗読を事前収録したものを同日開催されていた『土澤アートクラフトフェア』会場で放送した。不特定多数であるが多くの方々に聞いていただくことができた。写生会は応募する形で実施したが、申し込みと作品提出のため2度美術館に訪れる必要があったにもかかわらず目標を超える応募をいただいた。	
	次年度に向けて	郷土の先人でもある萬鉄五郎を顕彰する事業として、継続していくことが重要である。

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	10	104940	萬鉄五郎記念美術館等整備事業		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	01	芸術文化活動の推進				
目的	萬鉄五郎記念美術館及び収蔵施設の整備						
対象	萬鉄五郎記念美術館収蔵品						
意図	萬鉄五郎記念美術館収蔵美術品を適正な環境で保存する。						
事業概要	○萬鉄五郎記念美術館空調設備実施設計業務 2,222千円						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	整備事業実施件数	件	計画	1.00	1.00		
			実績	1.00	1.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1			目標				
			実績				
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
施設を整備する事業であり、効果を図るための事業ではないため成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	美術館の施設整備であり、公共関与は妥当である。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	美術館が開館して35年以上経過しており、現状のままでは向上の余地はない。
	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	いくらかでも安価にするように事業費では検討を重ねてはいるが、人件費は既に最低の人数となっておりいずれも削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	適正な環境で美術品を収蔵、または美術館を整備することで入館者の安全と満足度が図られるため、受益と負担の適正化余地は適正である。
	今年度の振り返り	開館以来一度も更新・改修していない美術館の空調機設備について、更新または改修の比較検討を行い令和5年度改修することで基本設計及び実施設計を完了した。
	次年度に向けて	美術館の空調設備の改修工事を実施する。